

広島市立広島市民病院

所在地：〒730-8518 広島市中区基町7番33号
 電話番号：082-221-2291 FAX番号：082-223-5514 URL：http://www.city-hosp.naka.hiroshima.jp/
 アクセス：広島駅より【市内電車】で約16分「紙屋町東」下車 徒歩約7分



病院概要 令和2年4月現在

開設年：昭和27(1952)年
 院長名：荒木 康之
 医師数：256人(研修医を除く)
 研修医数：1年目13人 2年目13人
 研修医の：岡山大学、広島大学、愛媛大学、大分大学、大阪市立大学、香川大学、帝京
 主な出身大学 大学、長崎大学、弘前大学、宮崎大学、山梨大学、川崎医科大学、東海大学
 病床数：743床
 診療科目：総合診療科、内科、内視鏡内科、呼吸器内科、循環器内科、腫瘍内科、腎臓内科、血液
 内科、内分泌・糖尿病内科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科・脳血管内治療科、
 心臓血管外科、呼吸器外科、乳腺外科、小児科、神経小児科、循環器小児科、小児外科、産科・婦人科、皮膚科、泌尿器科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、眼科、精神
 科、脳神経内科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、リハビリテーション科、リウマチ・膠原病科、歯科・歯科口腔外科、緩和ケア科、救急科、病理診断科



病院のアピールポイント

当院は、中核病院としての機能を有し、5大がんをはじめ泌尿器、婦人科がんなど年間1万件を超える手術を行っています。平成27年4月に新設したハイブリット手術室ではTAVI治療を開始し令和2年3月の段階で250例が終了しました。さらに、平成30年10月には手術支援型ロボット「ダヴィンチ」を更新し、保険適応拡大の術式のうち胃、大腸、婦人科、呼吸器、膀胱の領域においてもロボット支援手術を開始しました。救急医療についても救急科と救命救急センターにおいて一次から三次までの初療を行う北米型ER方式での救急医療両立に積極的に取り組んでいます。救急科の令和1年度の実績は、救急車年間7,101台、受診患者数は31,577名となっています。

研修プログラムの方針及び特徴

- 各診療科に、十分な指導医がいる。救急外来当直を通じて、初期診療対応力をつけることができる。
- 地域の中核病院、急性期病院の特徴を生かし、豊富な症例を経験することができる。
- 将来像をじっくり考えたい方や初期研修の間に色々な研修をしたい方は、選択研修期間に、希望する複数以上の科の組み合わせを選択することができる。
- 将来選択する専門科が決まっている方は、より長い期間を専門科で研修することができる。
- 地域医療は、当院にて研修しにくい疾患を経験できる病院を設定している。
- 毎月行われる研修管理委員会では、初期臨床研修医も委員として参加し、研修医視点でプログラムの改善が随時実現することができる。

初期臨床研修スケジュール

1年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	内科 / 24週以上(消化器内科、腎臓内科、内分泌・糖尿病内科、脳神経内科、呼吸器内科、循環器内科、一般外来) 救急部門 / 12週以上(救急科、麻酔科) 脳神経外科※ 自由選択 外科※											
並行してER当直												
2年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	小児科※ 産婦人科※ 精神科※ 地域医療 自由選択											
並行してER当直												

※一般外来は総合診療科とする。※脳神経外科、外科、小児科、産科・婦人科、精神科(各科4週以上)とする。
 ※地域医療(4週以上)は、一般外来、在宅医療、地域包括ケアを含めることとする。
 ※選択は、1年次は2月の1か月とし2年次は地域医療・必修3科を除くすべての期間を自由選択とする。
 ※協力施設：聖清会朝川病院、医療法人社団曙会シムラ病院、広島市立舟入病院、医療法人中西内科、広島通信病院、総合病院福島生協病院、医療法人正岡病院、庄原赤十字病院、広島市立こども療育センター、広島市立リハビリテーション病院、瀬戸内徳洲会病院 ほか

指導医の体制 令和2年4月現在

※()内の数字は、厚労省の開催指針に則った指導医講習会を修了している者の数

	内科	外科	循環器内科	脳神経外科	麻酔科	救急科	小児科 循環器科	産科・ 婦人科	精神科	心臓血管 外科	整形 外科	その他 診療科
指導医数	24 (21)	18 (12)	10 (9)	4 (3)	19 (12)	9 (9)	11 (9)	9 (6)	5 (3)	7 (4)	7 (6)	66 (41)

研修・認定施設 (詳しくは、ホームページをご覧ください。)

- 日本内科学会内科認定医制度教育病院
- 日本消化器病学会認定医制度認定施設
- 日本肝臓学会認定施設
- 日本消化器内視鏡学会認定指導施設
- 日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設
- 日本呼吸器学会認定施設
- 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
- 日本外科学会外科専門医制度修練施設
- 日本消化器外科学会専門医修練施設
- 日本整形外科学会認定研修施設 ほか

募集要項 (令和3年4月採用)

試験概要

- 採用予定数：13人
- 出願期間：令和2年7月13日(月)から令和2年7月31日(金)まで
- 出願書類：当院所定の履歴書(自筆)、卒業(見込)証明書、官製はがき(受験票返信用)
- 試験日：令和2年8月19日(水)
- 選考方法：筆記試験(医学知識・小論文) 面接試験(グループ面接・個人面接)

当直

- 当直：有 3回/月
- 当直手当：13,500円/回
- 勤務時間：宿直 17:15～翌朝8:30
日直 8:30～17:15
- 当直後の勤務免除：無

指導医からのメッセージ

当院は全国レベルで活躍する臓器別Specialistと横断になる経験豊富なGeneralistが共存している魅力的な病院です。全国症例ランキング上位常連の各科がん診療、充実した総合周産期母子医療センター、循環器+脳血管疾患を中心とした救命救急センター、豊富な小児症例等、病院の魅力は多岐に渡ります。そして高度先進医療以上に研修医にとって魅力なのが北米型ER研修です。高度先進医療主体の病院にありがちな「紹介状を持った患者」のみ診るのではなく、「初見の患者」を診る研修が可能です。初期研修医の多くは終了後も当院の後期研修医として残り、屋根瓦式研修を支えています。レクリエーションも盛んで、充実したオンタイムに負けない充実したオフタイムも当院研修の魅力です。是非、一緒に当院の医療を底上げしていきましょう！



集中治療部 主任部長 藤中 和三

働きやすい勤務環境PR

当院は広島市の中心に位置しており、初期研修医用マンションも徒歩通勤可能な範囲にあるため、日常生活を送る上でも非常に便利です。院内保育所も完備され、女性医師も働きやすい環境が揃っており、定着率も高い病院です。野球観戦や食事会など交流の場も多く、仕事とメリハリをつけることができ、職種の壁を越えて人間関係を築くこともできます。また、月に1度、上級医との意見交換の場も開かれ、より良い研修の実現を目指しています。是非一度見学にいらしてください!!!

処遇

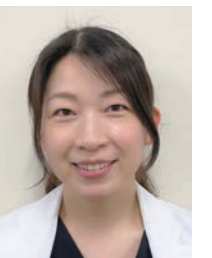
- モデル給与：1年次 5,646,816円
(年額) 2年次 5,916,240円
- 手当：宿日直手当・時間外手当・通勤手当
- 勤務時間：8:30～17:15
- 休暇：年次有給休暇(20日)、夏季休暇(5日)、年末年始休暇(6日)、結婚休暇、産前・産後休暇、忌引など
- 社会保険：協会けんぽ^{*1}、厚生年金^{*1}、雇用保険、労災保険^{*2}
*1 2年目は広島市職員共済組合 *2 2年目は公務員災害適用

設備

- 研修医用宿舎：有(家賃:12,350円/月)
- 図書室：有
- 研修医室：有
- 院内保育：有

研修医からのメッセージ

当院は広島市の中心部にあり、中核病院として患者さんに最先端の医療を提供しています。挨拶の飛び交うとても雰囲気の良い病院で、スタッフは皆生き生きと仕事をしており、研修医の教育指導にも非常に熱心です。当院での研修の大きな魅力のひとつであるER当直では、研修医が主体となって動き、幅広い症例を数多く経験することができます。1例1例を振り返り、学んだことを反復することで診断・治療を考える力が身につきます。また、全国からやる気と向上心に満ち溢れた仲間が集まっており、勉強会や学会などの院外活動にも積極的です。病院をあげての忘新年会やカープ観戦など、様々なイベントもあり、科や職種を超えて多くの人と関わることができるのも当院の魅力です。活気ある広島市民病院で、ぜひ一緒に働きましょう！



2年次研修医 浅田 萌々子



お問合せ先

申込担当部署：事務室総務課人事係(研修管理委員会)
 事務担当者：有馬・長谷川・児玉
 E-mail：hiro-kensyu@hcho.jp